

第16期業績のご報告

(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

平成 24年 9月 吉日
 日本システムバンク株式会社
 代表取締役社長 野坂 信嘉

当期の日本経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから回復しつつあるものの、継続的な円高やユーロ圏の財政問題など、予断を許さない状況が続いております。

このような外部環境のもと、当社では時間貸し駐車場の高付加価値化を旗印に「24時間365日フルメンテナンスサービスの強化」と「電気自動車、プラグインハイブリッド車用の充電スタンド(以下、充電スタンド)の設置促進」に注力して参りました。具体的な取組として、コンサルティング営業の強化とメンテナンス要員の増員、そしてコールセンターでの顧客対応能力の強化を図り、運営会社様との関係の深耕と時間貸し駐車場利用顧客の満足度向上を図りました。また、課金可能な充電スタンドと高機能型の充電スタンドを、直営駐車場をはじめとし、運営会社様の時間貸し駐車場などに設置しました。

またコインパーキング(以下、CP)システム運営事業では、新規開設時間貸し駐車場を厳選し、既存駐車場では、収益改善専門チームを増員し、収益力向上を図りました。その結果、売上高2,493,969千円(前期比106.3%)となりました。

CPシステム販売管理事業では、運営会社様の投資意欲の向上、コンサルティング営業の強化、メンテナンス部門の組織力強化により、売上高2,112,552千円(前期比111.9%)と大幅に伸長致しました。当社のコアコンピタンスである、時間貸し駐車場事業に於いては、堅調に推移致しております。

プロパティマネジメント事業では、収益ビルの一部売却により、売上高283,830千円(前期比97.9%)となりました。

分譲マンション事業に関しては、上期は東日本大震災の直後でもあり、消費マインドが大きく冷え込んだ影響で実績は低調でしたが、下期は上期の買い控えの反動もあり、好調に推移致しました。しかし、上期の不足分をカバーするまでに至らず、629,396千円(前期比72.8%)となりました。

このような状況の中、当期に於ける売上高は5,520,052千円(前期比102.4%)、営業利益は246,385千円(前期比139.8%)、経常利益は109,786千円(前期比656.5%)と大幅に伸長致しました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額
CPシステム運営事業	2,493,969千円
CPシステム販売管理事業	2,112,552千円
プロパティマネジメント事業	283,830千円
分譲マンション事業	629,396千円
その他	303千円